

青少年 とちぎ

令和元年12月24日

第217号

CONTENTS

- 1 少年の主張発表県大会
- 3 少年の主張発表地区大会
- 6 2019「家庭の日」絵日記コンテスト
- 8 親子学び合い事業「講師養成講座」
- 10 栃木県青少年育成県民会議表彰
- 11 特集“優良青少年団体”の紹介
- 12 栃木県青少年育成指導員会第2回自主研修会
- 13 ふれあいフェスティバル2019
- 14 栃木県青少年育成アドバイザー会（公財）とちぎ未来づくり財団事業紹介



栃木県青少年育成県民会議
シンボルマーク

【発行】栃木県青少年育成県民会議（公財）とちぎ未来づくり財団青少年育成課
宇都宮市本町1-8 TEL028-643-1005 FAX028-650-5284 URL: <http://www.tmf.or.jp> E-mail: ikusei@tmf.or.jp

第42回栃木県少年の主張発表県大会

今年の大会には県内の中学生15,549名の応募があり、各地区大会には各校代表の164名が参加しました。

県大会は9月21日（土）に宇都宮市文化会館小ホールで開催され、8つの地区大会で選ばれた代表16名が主張を発表しました。昨年に引き続き、県大会の表彰式では栃木県青少年育成県民会議会長の福田富一知事が最優秀賞を授与し、16名の発表者に「激励の言葉」を述べました。

来年の県大会は、令和2年9月19日（土）栃木県総合文化センターサブホールで開催いたします。



賞	氏名	学校名・学年	題名
最優秀賞	星 優莉香	下野市立南河内第二中学校 3年	姉が教えてくれたこと
優秀賞 (発表順)	小倉 心優	真岡市立久下田中学校 3年	自分らしく生きる
	池田 美波	日光市立東原中学校 3年	今の自分に自信を
	大金 飛翔	大田原市立大田原中学校 3年	ふるさとに誇りを持って
奨励賞 (発表順)	園部 陽香	大田原市立金田北中学校 3年	子供らしさを守りたい
	新夕 綾香	鹿沼市立東中学校 3年	母が教えてくれたこと
	篠田 歩実	佐野市立城東中学校 3年	私の使命
	斎藤 優菜	塩谷町立塩谷中学校 3年	多様な価値観を受け入れよう
	六本木叶愛	宇都宮市立陽南中学校 3年	159分の言葉
	安部 葵優	宇都宮市立陽北中学校 3年	万能言語
	島田 高聖	宇都宮市立清原中学校 3年	「介護と人の尊さ」
	檜山 明里	那珂川町立馬頭中学校 3年	「ヘッドネーション」を知って
	伊藤 媛香	國學院大學栃木中学校 3年	いまこそ「平和」を考える
	藤澤 幸大	益子町立七井中学校 3年	未来の農業と自分
	福富 莉央	佐野市立赤見中学校 3年	大好きな野球で
荒巻 司	小山市立小山中学校 3年	「人のためになる介護」	

最優秀賞



姉が教えてくれたこと

下野市立南河内第二中学校3年 星 優莉香

皆さんには、兄弟はいますか。私には、8歳年上の姉がいます。彼女は、笑顔の素敵な優しい人です。でも、その笑顔の裏で、私たちには想像もできない、過酷な人生を生きています。

私の姉は、膠原病という病気を抱えています。姉は、4歳のときに、42度の高熱に襲われました。熱は40日間続き、そのうち、姉の手足は動かなくなりました。姉は、4歳という若さで、膠原病とともに生きる人生を突きつけられたのです。

姉は、身体障害者です。手足は自由に動かせないので、車椅子で生活しています。視力も弱いので、これを補うために人工レンズを入れています。それから、服用する薬の副作用で、身長は105センチしかありません。骨もろくなってしまうので、薬には抵抗力を抑える効果があるので、姉の体は感染症にかかりやすくなっています。発達障害もっており、苦手なこともたくさんあります。たくさんの生きにくさを抱えながらも、姉は毎日笑顔で生活しています。

姉の話をする時、同級生や他のおうちの方から「かわいそう」と言われることがあります。確かに、彼女はたくさんの生きにくさを抱えています。「かわいそう」と言われるのも、無理はありません。でも私は、この「かわいそう」に違和感をもっています。「かわいそう」という言葉の奥には、自分の方が優れている、自分の方が豊かである、というような、人と人とを比べる意識があるように思うからです。

私は、姉との暮らしを通して、姉が強く生きていて、生きることを素晴らしいと感じていることを知っています。姉は、「かわいそう」な人ではありません。どんな困難にも笑顔で立ち向かい、生きることに希望をもっている「強

い人」なのです。病や障害とともにあるからこそ、姉は強い人になったのだと思います。そして、そんな姉と生きているからこそ、私は人の強さを知ることができたのだと思います。

今から2年半前のことです。姉はMRSA感染症になりました。大学病院に入院しましたが、日に日に病状は悪化していき、入院期間は6か月にも渡りました。

そんなある日、病院を訪れた母に、医師はこんなことを告げました。

「明日、明後日がやまです。最後かもしれません。ご家族を、お呼びください。」

まるで、ドラマのワンシーンのようだった、と母は言いました。医師の言葉を聞いて、母は、声を上げて泣きくずれたそうです。

当時小学6年生だった私は、その日、学校で授業を受けていました。母からの連絡を受け、担任の先生に手を引かれて、姉の病院へ行きました。姉は様々な臓器を病み、意識を失っていました。「お姉ちゃん、死なないで。生きて。」と心から願いましたが、その日は目を覚ますことはありませんでした。

2日後、姉はハッと意識を取り戻しました。「峠は越えました」という医師の言葉に、家族みんなで胸をなで下ろしました。私たち家族の「生きてほしい」という願いが、そして何より姉自身の「生きたい」という願いが、病を退けたのだと思います。

姉は、人の支えなしには生きられません。しかし、支えられているからこそ、感謝の気持ちと誇りをもって生きているのだと思います。幸せそうに生きている姉を、私は誇りに思っています。

姉の姿を見て育ち、私は医師になりたいと思うようになりました。難病と戦う人の心の支えとなれる医師になって、一生懸命に生きる人々を励ましたいと思っています。諦めない心、周囲への感謝の心、そして、人としての力強さ。私にたくさんのことを気づかせてくれた姉に感謝しながら、私も力強く生きていきたいです。

県大会の司会は、宇都宮市立国本中学校3年の亀山環さん、伊藤智則さん、福田眞歩さんの3人が務めました。

大きな声で堂々と、舞台と客席の様子を見ながら自ら考え、判断していた進行を賞賛する声を多数いただきました。



最優秀賞の星優莉香さんは「第41回少年の主張全国大会」(12月8日(日)会場:国立オリンピック記念青少年総合センター)に栃木県代表として参加しました。また、前日と当日の午前中に行われた努力賞受賞者との意見交換会にも参加しました。全国大会終了後に星さんからお話を伺ったところ「障害者への偏見について主に考えていましたが、意見交換会で同じグループになった受賞者の話を聞いて、障害者だけではなく、他の人の人権についても深く考えるようになりました。そして地区大会、県大会、全国大会を通して、姉について多くの人に理解してもらえたと思います。」とおっしゃっていました。



栃木県少年の主張発表大会とは

県内では、県大会以前に塩谷地区、安足地区で少年の意見の発表大会がありましたが、昭和53年11月28日に県内8地区の代表による「第1回栃木県少年の主張コンクール」が宇都宮市立旭中学校を会場として開催されました。この大会は、昭和57年の第5回大会から「栃木県少年の主張発表大会」となり、現在に至っています。

また、全国では、国際児童年の昭和54年に「第1回全国少年の主張コンクール」が開催され、栃木県の代表者が最高賞の総務庁長官賞を受賞しました。この大会も、昭和57年の第4回大会から「少年の主張全国大会」となり、本県の代表は昭和57年と平成11年に最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しています。

各地区大会の様子

河宇地区大会

8月21日(水) パルティ とちぎ男女共同参画センター



最優秀賞	宇都宮市立清原中学校	3年	島田 高聖
//	宇都宮市立陽北中学校	3年	安部 葵優
//	宇都宮市立陽南中学校	3年	六本木叶愛
優秀賞	文星芸術大学附属中学校	3年	瀬古みゆう
//	宇都宮市立陽東中学校	3年	神藏 陽花
//	宇都宮市立泉が丘中学校	3年	渋谷 真帆
優良賞	上三川町立上三川中学校	3年	手塚 七星
//	宇都宮市立宮の原中学校	3年	瀧上 凪夏
//	宇都宮市立陽西中学校	3年	齋藤 優真

優良賞	宇都宮市立横川中学校	3年	齋藤 理子
//	宇都宮市立田原中学校	3年	佐藤 凜空
//	宇都宮市立古里中学校	3年	上村 優華
//	宇都宮市立上河内中学校	3年	上田 倭
//	宇都宮市立星が丘中学校	3年	神戸 智彦
//	上三川町立明治中学校	3年	松本みなみ
//	宇都宮市立国本中学校	3年	岡田妃那乃
//	上三川町立本郷中学校	3年	小野口裕之
//	宇都宮市立瑞穂野中学校	3年	百目鬼優太郎
//	栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校	3年	平星 佑奈
//	宇都宮市立晃陽中学校	3年	桑久保翔大
//	宇都宮海星女子学院中学校	3年	葦澤 七菜
//	宇都宮短期大学附属中学校	3年	薄井 映那
//	作新学院中等部	3年	山田 英恵
//	宇都宮市立河内中学校	3年	植田琳々香
//	宇都宮市立鬼怒中学校	3年	神山 怜菜
//	宇都宮市立若松原中学校	3年	遠藤 ゆな
//	宇都宮市立姿川中学校	3年	牛窪 千佳
//	宇都宮市立一条中学校	3年	飯野 彩菜
//	宇都宮市立宝木中学校	3年	阿久津心晴
//	宇都宮市立旭中学校	3年	田中紗瑛子
//	宇都宮市立雀宮中学校	3年	館野 葵
//	宇都宮市立城山中学校	3年	伊澤 咲貴

下都賀地区大会

8月22日(木) 壬生町城址公園ホール



最優秀賞	國學院大學栃木中学校	3年	伊藤 媛香
//	下野市立南河内第二中学校	3年	星 優莉香
//	小山市立小山中学校	3年	荒巻 司
優秀賞	壬生町立壬生中学校	3年	岡村 瑠那
//	下野市立南河内中学校	3年	鈴木 優彩
//	栃木市立寺尾中学校	2年	岡 京介
//	小山市立大谷中学校	3年	鈴木 美釉
//	小山市立間々田中学校	3年	渡邊 凌空
//	栃木市立大平中学校	3年	佐藤 伶奈
//	栃木市立大平南中学校	3年	相原 翔海

優秀賞	小山市立乙女中学校	3年	阿部慎太郎
//	小山市立豊田中学校	3年	岡泉 倅来
//	下野市立石橋中学校	3年	臈畑 莉子
//	栃木市立藤岡第一中学校	3年	齋川由紀恵
//	栃木市立藤岡第二中学校	3年	早乙女愛佳
//	小山市立美田中学校	3年	増山 柊花
//	小山市立桑中学校	3年	本間 愛美
//	下野市立国分寺中学校	3年	岡田 渚子
//	栃木市立都賀中学校	3年	青木 美緒
//	栃木市立西方中学校	3年	山中 颯太
//	栃木市立岩舟中学校	3年	平野 魁大
//	小山市立絹義務教育学校	9年	佐藤 遼亮
//	野木町立野木中学校	3年	諏訪 陽香
//	野木町立野木第二中学校	3年	菊地小羽玖
//	栃木市立栃木東中学校	3年	中村 凜莉
//	栃木市立栃木西中学校	3年	清水 悦子
//	栃木市立栃木南中学校	3年	前橋 杏樹
//	栃木市立東陽中学校	3年	高久 璃子
//	小山市立小山第二中学校	3年	手塚 心晴
//	小山市立小山第三中学校	3年	田崎 結花
//	壬生町立南犬飼中学校	3年	太田 智貴
//	栃木市立皆川中学校	3年	谷部梨里香
//	栃木市立吹上中学校	3年	高久あかり
//	小山市立小山城南中学校	3年	畠山ひかり

芳賀地区大会

8月22日(木) 真岡市青年女性会館



最優秀賞 益子町立七井中学校 3年 藤澤 幸大
 // 真岡市立久下田中学校 3年 小倉 心優

優 秀 賞 茂木町立茂木中学校 3年 稲葉 愛唯
 // 真岡市立山前中学校 3年 坂本 莉奈
 審査員特別賞・優秀賞
 栃木県立益子特別支援学校 3年 宮本 優雅
 優 秀 賞 益子町立田野中学校 3年 和田 七海
 // 真岡市立物部中学校 3年 一木 彩希
 // 真岡市立真岡西中学校 3年 荒井 若菜
 // 真岡市立中村中学校 3年 久保 羽菜
 // 市貝町立市貝中学校 3年 中野 千颯
 // 益子町立益子中学校 3年 植田 羽新
 // 真岡市立真岡東中学校 3年 山岡ゆうあ
 // 芳賀町立芳賀中学校 1年 押久保知暉
 // 真岡市立大内中学校 2年 大塚 零華
 // 真岡市立真岡中学校 3年 佐藤愛紗美
 // 真岡市立長沼中学校 3年 荒山 流太

上都賀地区大会

8月24日(土) 鹿沼市民情報センター



最優秀賞 鹿沼市立東中学校 3年 新夕 綾香
 // 日光市立東原中学校 3年 池田 美波
 優 秀 賞 鹿沼市立北中学校 3年 秋澤ことみ
 // 日光市立藤原中学校 3年 大久保夏々
 優 秀 賞 日光市立今市中学校 3年 平井 靖大

優 良 賞 日光市立落合中学校 3年 谷野 綾音
 // 日光市立日光中学校 3年 亀山 康眞
 // 日光市立東中学校 3年 杉江 光帆
 // 日光市立三依中学校 3年 小池 葵
 // 鹿沼市立南押原中学校 3年 落合 萌華
 // 日光市立豊岡中学校 3年 青木 美心
 // 鹿沼市立板荷中学校 3年 矢野 隼
 // 日光市立栗山中学校 3年 湯澤妃茉莉
 // 鹿沼市立北犬飼中学校 3年 横山紅瑠美
 // 鹿沼市立栗野中学校 3年 原田 涼風
 // 鹿沼市立西中学校 3年 西村 歩珠
 // 日光市立大沢中学校 3年 小田切絢花
 // 鹿沼市立南摩中学校 3年 太田 蓮
 // 鹿沼市立加蘇中学校 2年 神山 雄臥
 // 日光市立湯西川中学校 3年 山口 楽夢
 // 鹿沼市立北押原中学校 3年 篠原 美桜
 // 日光市立足尾中学校 3年 加藤 伊織
 // 日光市立小来川中学校 3年 矢野 楓夏
 // 日光市立中宮祠中学校 2年 曲淵 紗衣
 // 日光市立小林中学校 3年 井上 青花

安足地区大会

9月3日(火) 足利市民会館



最優秀賞 佐野市立城東中学校 3年 篠田 歩実
 // 佐野市立赤見中学校 3年 福富 莉央
 優 秀 賞 足利市立北中学校 3年 渡部亜由子
 // 佐野市立北中学校 3年 亀田 紗奈

優 秀 賞 足利市立愛宕台中学校 3年 大木舞璃愛
 // 佐野日本大学中等教育学校 3年 月澤 優杜
 // 足利市立第三中学校 3年 小和田晴輝
 // 白鷗大学足利中学校 3年 小田 千桜
 // 足利市立協和中学校 3年 木暮 眞帆
 // 佐野市立田沼東中学校 3年 菅江 桜子
 // 足利市立富田中学校 3年 笠原 星妃
 // 栃木県立佐野高等学校附属中学校 3年 山本 愛美
 // 足利市立第一中学校 3年 小林 春花
 // 佐野市立西中学校 3年 佐藤 陽香
 // 佐野市立南中学校 3年 福澤ひより
 // 佐野市立常盤中学校 3年 関塚 大翔
 // 佐野市立田沼西中学校 3年 塚原 昇城
 // 足利市立毛野中学校 3年 相澤 紫夕
 // 足利市立西中学校 3年 秋野穂太郎
 // 足利市立坂西中学校 3年 大川しえら
 // 足利市立山辺中学校 3年 粕谷 心愛
 // 足利市立第二中学校 3年 真下 聖広
 // 佐野市立葛生中学校 3年 吉澤 有真

那須地区大会

9月5日(木) 那須町文化センター



最優秀賞	大田原市立大田原中学校	3年	大金 飛翔
//	大田原市立金田北中学校	3年	園部 陽香
優秀賞	那須塩原市立東那須野中学校	3年	中村 光希
//	那須塩原市立日新中学校	3年	高久 真夢
//	大田原市立若草中学校	3年	菅谷 陽菜
優良賞	大田原市立湯津上中学校	3年	飯塚 心優
//	那須塩原市立塩原小中学校	9年	成田 乃愛
審査員特別賞・優良賞	栃木県立那須特別支援学校	2年	金田 元気
優良賞	那須町立那須中央中学校	3年	坂本 健一
//	那須塩原市立黒磯中学校	3年	室井向日葵
//	那須塩原市立三島中学校	3年	篠木 琉衣
//	大田原市立黒羽中学校	3年	大宮司雪乃
//	那須町立那須中学校	3年	渡邊 匠
//	大田原市立親園中学校	3年	小林 慧流
//	那須塩原市立西那須野中学校	3年	長山 拓磨
//	那須塩原市立箒根中学校	3年	佐藤 優羽
//	那須塩原市立厚崎中学校	3年	渡邊 結彩
//	那須塩原市立高林中学校	3年	高根沢 ちなり
//	大田原市立金田南中学校	3年	松本 昂樹
//	大田原市立野崎中学校	3年	杉山 和樹
//	那須塩原市立黒磯北中学校	3年	柿沼 千鶴

南那須地区大会

9月12日(木) 那珂川町小川総合福祉センター



最優秀賞	那珂川町立馬頭中学校	3年	檜山 明里
優秀賞	那珂川町立小川中学校	3年	田代 奈々
//	那須烏山市立南那須中学校	3年	内藤 瑠奈
//	那須烏山市立烏山中学校	3年	安齋 宏紀

塩谷地区大会

9月13日(金) 栃木県立矢板東高等学校附属中学校



最優秀賞	塩谷町立塩谷中学校	3年	斎藤 優菜
優秀賞	栃木県立矢板東高等学校附属中学校	3年	森 ひなこ
//	さくら市立喜連川中学校	3年	石田 香澄
//	矢板市立片岡中学校	3年	小曾戸彩乃
//	矢板市立矢板中学校	3年	大町 恵未
//	さくら市立氏家中学校	3年	星 栞
//	矢板市立泉中学校	3年	和氣 誠朗
//	高根沢町立阿久津中学校	3年	鈴木 陽菜
//	高根沢町立北高根沢中学校	3年	宮崎 和志



とちぎ心のスクラム県民運動

毎月第3日曜日は

2019家庭の日 絵日記コンテスト結果



ふれあい育む
家庭の日

次代を担う青少年を心身ともに健やかに育むためには、明るく円満な家庭が必要です。ふれあい育む「家庭の日」を広報・啓発し、県民総ぐるみで青少年の育成に取り組むために、家族のふれあいや思い出等をテーマに絵日記コンテストを実施しました。今年は1,406点のご応募がありました。

たくさんのご応募ありがとうございます。入賞作品13点は(公財)とちぎ未来づくり財団ホームページにも掲載されておりますのでご覧ください。(http://www.tmf.or.jp/r1contest.html)



最優秀賞

那須町立高久小学校
根本 蒼生さん
「ヒロばあちゃんの新盆」



お父さんが孫で、おばあちゃん子だったんだって。僕だって、ひ孫だけとおばあちゃんが大好きです。おばあちゃんを囲んで、親戚中が集まるのがいつも、とてもうれしかったです。おばあちゃんのおかげでたくさんの親戚のみんなの笑顔でいっぱいになりました。今は寂しいけれど、おばあちゃんは「最期のときも、こうしていておくれ」と言っていたので、この絵をかきました。おばあちゃん、ありがとう。

優秀賞



鹿沼市立清洲第一小学校
高田 満生さん
「五人がいちばん」



妹が入院した時、家族が一人いないだけでさみしくなりました。だから家族全員が揃った夕食の「五人がいちばん」という絵日記を描きました。

優秀賞



栃木市立藤岡小学校
川島 貴汰さん
「ぼくと弟の特製玉子焼き」



家族が喜んでくれるとぼくは嬉しいです。この絵日記は家族が喜んでくれるかなと思って弟と玉子焼きを作った作品です。

優良賞



那須塩原市立大原間小学校
星野 清士朗さん
「あたたかいことば」



野木町立新橋小学校
後藤 哲志さん
「おとうとのはみがきたいむ」



大田原市立大田原小学校
前島 舞葉さん
「手づくりおまわり」



那須塩原市立大原間小学校
白井 みつきさん
「すてきなことば」



下野市立緑小学校
鈴木 佑菜さん
「なつ休みのおやすみなさい」



宇都宮市立豊郷北小学校
白井 努さん
「かまのふた」



那須塩原市立南小学校
森山 葵翔さん
「楽しい花火大会」



宇都宮市立今泉小学校
富田 理央さん
「幸せの時」



下野市立緑小学校
木村 いなさん
「弟のねぐせ」



大田原市立大田原小学校
前島 優葉さん
「家族っていいな」

親子学び合い事業(ネット時代の歩き方講習会)講師養成講座が終了しました

今年度、新規事業として実施しました上記の講座ですが、お陰をもちまして全4日間の講座を終了しました。

インターネットが普及して私たちを取り巻く生活環境は大きく変わりました。環境が変わったことで、行動も変わりました。しかし、この変化を感じているのは我々大人であり、子どもたちは生まれたときから現在置かれた状況が当たり前になっています。

先日、大阪市の小学6年女児が栃木県内で保護されるという事件が起きました。この事件を受けて、本講座の講師でもあるNPO法人青少年メディア研究協会の下田太一先生は「SNS上の相手に優しい声をかけられると、好印象を抱いてしまう。人生経験の少ない子どもならより相手に期待感を持ちやすい。」と話しています。

SNSでつながることで、実際に会ったことはなくても、悩みを聞いてもらったり、優しい言葉や励ましの言葉をかけてもらったりすることで、子ども側からネット上の相手に近づいていくケースがあるなど、講座の中でも具体的にお話いただきました。

「大きな危険性をはらんでいる可能性があるため、SNSでつながった相手とは会わない」というメッセージはもちろん大切です。しかし、現実の世界ではなく、ネットの世界に出会いを求めて、悩みを打ち明けたり、本音で話したりする子どもが増加していることは事実です。だからこそ、私たち大人は、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくり、一人一人をよく観察し、見守り、自己肯定感を高めていくことが必要であるとネット時代の現在、改めて感じます。

「便利なことが問題になる？」

以前、下田太一先生の講話の中でこの言葉を聞いたときに、大変強い衝撃を受けました。それは、それまで「便利=よいこと」と自分自身が捉えていたからです。いつでも、どこでも、インターネットとつながることで私たちの生活は便利になったと考えることができます。しかし、その一方で失われている経験や獲得しづらくなった力はないでしょうか。そのことが子どもたちを健全に育てていく上で、問題にはなっていないでしょうか。知らず知らずのうちに、自分なりの使い方インターネットを利用しているうちに起こってしまう問題だけに、私どもは強い危機感を覚えております。

親子学び合い事業は、インターネットに関する諸問題について触れるだけではなく、「子どもの育ち」という視点に立って行われてきました。講座の概要は次ページに掲載しました。

(講座の様子)



〈第1日目〉「情報環境の理解」

開会行事
 親子学び合い事業について
 オリエンテーション
 子どもを取り巻く生活環境の理解
 インターネットの理解

〈第2日目〉「ネット利用問題の理解」

メディアの理解
 子どものネット利用問題の分析
 「4大リスク」（有毒性・中毒性・関係性・社会性）の理解

〈第3日目〉「コンテンツの内容理解」

ワークショップ形式講座の解説
 実演準備（グループワーク）
 プレゼン形式講座の解説
 実演準備（グループワーク）

〈第4日目〉「準備と発表」

発表に向けた準備
 グループ内発表
 講師としての心構え
 修了証授与

※4日間の講座終了後、受講者の要望によりフォローアップ研修を行っております（希望者のみ）

受講者の感想（一部抜粋）

- ・ ネットリテラシーについて勉強することで、子どもたちの明るい未来へつながる。スマートフォンが悪いものではなく、子どもとしっかり対話し、自尊感情を育てることでたくさんの情報から身を守る術が身についてくる。そのために、我々が何を学ばなければいけないのかを考えさせられました。
- ・ メディア理解の中で、メディア特性やメディアリテラシーの基本的な考え方がとても分かりやすく、本講座のベースとなる考えであると感じた。「4大リスク」の中で、便利すぎる生活による問題（社会性に関わる問題）について触れましたが、私もずっと感じていたので、とても共感できた。
- ・ メディアは人を操ることができる。その結果、誤った判断をしてしまうことがある。メディアの影響を理解し、自分の判断力を高める必要がある。
- ・ 内容が充実していて、大変勉強になった。一緒に学ぶ仲間がいてくれたことで、毎回取り組むことができたと感じている。講師として活動するまでには、まだまだ研修を積み重ねないといけないが、最新の情報を取り入れながら学び続けていきたいと思う。
- ・ 問題対処的な考えではなく、免疫的考えで子どもたちのよりよい人生のために講座を実施していく意識と意欲が高まった。

令和元年度「栃木県青少年育成県民会議表彰」

令和元年11月15日(金)に栃木県公館で「令和元年度栃木県青少年健全育成功労者等表彰式」を開催しました。
 栃木県青少年健全育成表彰、「家庭の日」絵日記コンテスト入賞者表彰とともに、栃木県青少年育成県民会議表彰を行いました。このうち、栃木県青少年育成県民会議((公財)とちぎ未来づくり財団)より表彰された方々は以下のとおりです。(五十音順、敬称略)

栃木県青少年育成県民会議表彰

明日の栃木県を担う青少年の健全育成を促進するため、「とちぎの子ども育成憲章」の理念に沿った活動をもって、青少年の育成に功績のあった、個人、団体及び社会貢献青少年、優良青少年団体を表彰しました。

子ども育成・憲章功労者(29名)

井草 清	磯 幸二
白井キミ子	薄井 真吾
大貫 重雄	大森 則男
岡田 敏子	加藤 良和
金子 享司	茅島 淳二
河田 知	菊地 藤明
越口 正一	小杉美津江
小瀧 信幸	小林 康男
塩澤 隆	白澤 嘉宏
菅沼 泰功	田仲 静雄
前澤 浩子	森山 京逸



中尾 秀美	永島 柁木	檜山 勉	星野 初代
山口 康夫	山野井 孝	渡邊 秀男	

子ども育成・憲章功労団体(18団体)

一般社団法人子ども未来塾	宇都宮子どもの本連絡会	宇都宮市緑が丘地区青少年育成会
宇都宮市立五代小学校地域協議会安全安心部会	乙畑ひまわりスクール実行委員会	おはなしきゃらばん つぼみ座
お話ボランティア めだか	小山地区南部子ども会育成会連絡協議会	
小山地区北部子ども会育成会連絡協議会	上河内防犯連絡会	川崎町青少年育成会
小松流安塚五段囃子保存会	自主防犯高根沢北パト隊	すばる天文同好会
田野町子ども育成会	栃木子どもの本連絡会	真岡警察署管内少年指導委員会
真岡市少年指導員会		

社会貢献青少年(3名)

須藤 司
 宮内 美緒
 宮田 将希



優良青少年団体(3団体)

黒磯北中学校ボランティア部
 佐野日本大学短期大学総合キャリア教育学科こどもフィールド
 未来創造ネットワーク白鷗

特集

「栃木県青少年育成県民会議表彰」優良青少年団体の紹介 ～黒磯北中学校ボランティア部～

私たち黒磯北中ボランティア部は、学校が創立してまもなく創部されました。創部当初は主に校内の奉仕活動を行ってきましたが、平成24年度より日頃からお世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを伝えようと、地域貢献活動を中心に活動の内容を広げてきました。

活動の前には、まず部員全員で話し合いを行います。「中学生にできること」「地域のためにできること」にはどんなことがあるかをみんなで考えます。出てきた意見について話し合い、折り合いをつけながら内容を決定していきます。決めていく過程を通して、目的や内容を共有し、部員が一丸となって活動することができ、目的を達成できると考えています。



これまで行ってきた活動のいくつかを紹介します。

保育園訪問では、園児にとって簡単でわかりやすいもの、興味・関心が持てる内容で限られた時間の中でできる活動を決めていきます。工作を行うときには、訪問する時期にふさわしいものや人気のキャラクターをテーマにします。他にも、絵本の読み聞かせでは絵が大きくてわかりやすいものを、外遊びではルールが簡単で一緒にできるものを実施するなど工夫しました。初めて会う私たちに園児たちは無邪気に声を掛けてくれ、活動の終わりの頃になるとすっかり打ち解けて楽しく活動できました。

高齢者施設訪問では、リコーダー演奏や合唱の披露、おしゃべりを通して、高齢者の方々と楽しく交流したいと考え計画しました。楽曲は、高齢者にもなじみのある文部省唱歌や昭和の時代に流行した歌謡曲をもとに選曲します。曲が決まると各自で練習し、訪問前に全体でリハーサルをして本番を迎えます。演奏中に高齢者の方々が一緒に歌ってくれたり、涙ぐんだりするのを見ると、私たちの心も熱くなりうれしい気持ちがこみ上げてきました。

また、地域の方々から声をかけていただき、地域の行事でボランティアスタッフとして活動する機会をいただきました。コミュニティ運動会では、用具の準備・片付けや招集の呼びかけ、人数が足りない自治会の選手として参加しました。未就学児の徒競走では、走り終えた子供たちに賞品を渡しました。無邪気に喜んで受け取る子供たちの姿を見て、こちらもうれしくなりました。「高齢化のため参加する人数がだんだんと減っていく中で、地元中学生の協力はありがたい」とコミュニティの代表の方から感謝の言葉をいただきました。コミュニティの夏祭りでは金魚すくいを出店し、祭りを盛り上げようと頑張りました。今年度は、市の図書館で子供たちに読み聞かせを行ったり、学童クラブのお祭りを出店の手伝いをしたりと活動の機会が広がりました。

地域での活動を通して、私たちはいろいろなことを学ぶことができました。これからも「中学生にできるボランティア活動」「地域のためにできる活動」を実践していきたいと考えています。



令和元年度栃木県青少年育成指導員会第2回自主研修会を実施しました

本年度の栃木県青少年育成指導員会第2回自主研修会が、令和元年8月30日（金）とちぎ青少年センターで、育成指導員26名、指導員会顧問1名、県民会議事務局5名の計32名の参加のもと開催されました。

自主研修に先立ち、今年で10周年を迎えた「とちぎの子ども育成憲章」を福富理事の先導によって参加者全員が唱和しました。

昭和43年（1968年）に、各市町にある市町村民会議の活動をリードするなど地域のボランティアリーダーを託して設置された育成指導員制度も51年目を迎えることになりました。栃木県青少年育成県民会議会長（栃木県知事）から育成指導員を委嘱された証である育成指導員章（バッジ）が今回リニューアルされ、野中県民会議事務局長から育成指導員の代表である土田会長に手渡されました。



今回の自主研修会は「各地区にあるそれぞれの市町村民会議の一層の活性化を図るための方策について考える」をテーマとして、1グループ8名からなる4グループ毎に話し合う形式で進められました。

市町村民会議を活性化させる要因はいくつもありますが、その中でbest1を決めてから、そのbest1について在籍している市町村民会議の課題や活動状況の情報交換をしてもらい、さらなる活性化への方策を見つけていこうというものでした。

各グループの市町村民会議を活性化させるためのbest1は

- ・活動の主体となる人達が幅広い年代層から集まっている
- ・市町村民会議内のコミュニケーションがしっかりとれている
- ・指導者が各方面（団体等）から参加している
- ・活動資金が確保でき、自主財源基盤がしっかりしている



他の市町の事情が聞けることや同じ苦勞を共有し共感することなどからか、95分の持ち時間は、熱心な話し合いとグループ発表により足りないほどでした。グループ発表では、意見として出された活性化に必要な育成指導員としての働きかけや努力点が提示されました。

この自主研修会に対して、10月15日（火）育成指導員会役員会が開かれ、この研修の総括とこの熱情を今後どう繋いでいくかが話し合われました。

それを受け県民会議事務局は、リーフレット「青少年育成市町村民会議を活性化させていきましょう！」の作成に入り、各市町村民会議の支援に向け、年度末の完成を目指しています。

今回実施した自主研修会に参加した方々の主なアンケート

- ・各市町村で、それぞれ運営方法や活動内容が異なっていることが理解できた。地元の組織にどのように反映できるか考えていきたい。
- ・地域によって活動、資金、構成員などに違い（温度差）がこんなにあるとは思わなかった。
- ・市町村民会議内でのコミュニケーションがとれているところを見習いたい。
- ・色々な市町の状況を伺い、大変勉強になりました。他の活動を参考にさせていただきます。市町村民会議のPRも必要と感じました。
- ・指導員になって、初めて知ることばかりで戸惑いつつもとても勉強になりました。

ふれあいフェスティバル2019に参加しました

令和元年10月27日（日）とちぎ青少年センターにおいて「ふれあいフェスティバル2019」が開催されました。

ふれあいフェスティバルは、とちぎ青少年センターの利用促進を図るために開催され、また、青少年の交流、青少年の健全育成を目的とした参加団体のPRの場となっています。

今年度は、例年同時開催している国際フェスティバル「レッツアミーゴ」が11月の開催となり、ふれあいフェスティバルの単独開催でした。来場者数がかなり減少してしまうのではないかと心配の声もありましたが、各青少年団体の出展ブースは大勢の家族連れで賑わっていました。栃木県青少年育成県民会議では、「つくってあそぼう」と題し、パッチンかえるやパラパラ漫画といった簡単に作成出来、家に持ち帰って遊べる工作を行い、多くの子供達に参加してもらえました。また、コマ回しの実演では、日頃目にする機会のない変わりゴマに、子どもから大人まで目が釘付けとなっていました。



栃木県青少年育成アドバイザー会 関東甲信越地区研修会

全日本青少年育成アドバイザー会連合会「関東・甲信越ブロック交流会」が、令和元年11月23日（土）にとちぎ青少年センターで開催されました。栃木県が会場になるのは10年ぶりとなります。今回の交流会には、「青少年育成アドバイザー東京会」、「埼玉県青少年育成アドバイザー会議」、「栃木県青少年育成アドバイザー会」、そして「栃木県青少年育成指導員会」の皆様が参加しました。また、意見交換会には栃木県青少年育成県民会議の小林理事長が参加しました。

研修では、栃木県の青少年育成活動を栃木県青少年育成県民会議から説明し、各都県のアドバイザー会の状況を現在の活動内容や課題等を交えて各会長がそれぞれ説明しました。抱えている課題には共通することが多くありました。その中で栃木県青少年育成指導員会の土田会長は青少年育成指導員の活動説明に加え、青少年育成アドバイザー会がどのような活動をしているのか知ることができて今回の研修は有意義だとおっしゃっていました。

本交流会は参加団体の交流と連携を図る良い機会になりました。



とちぎ未来づくり財団事業のお知らせ

栃木県総合文化センター



問い合わせ先 028(643)1010 (文化振興課)
住所 宇都宮市本町 1-8
URL <http://www.sobun-tochigi.jp>
E-mail tmf@tmf.or.jp



2020年4月から2021年3月は栃木県総合文化センターリニューアル記念イヤーとして、スペシャルな企画を盛りだくさんでお贈り致します！（ホール棟2020年4月1日リニューアルオープン！）

東京2020 NIPPONフェスティバル共催プログラム とちぎ文化フェスティバル2020 ～栃木県総合文化センター リニューアルプレオープン公演～

「とちぎで生まれたオーケストラ大集合！」

栃木県内で活動するアマチュアオーケストラ9団体が、メインホールでは迫力あるオーケストラ演奏を、サブホールではお子様も一緒に楽しめる演奏をお贈りします！

【出演団体】（出演順）
メインホール：マロニエ交響楽団、大田原市民吹奏楽団、宇都宮音楽集団、宇都宮シンフォニーオーケストラ
サブホール：みぶ吹奏楽団、那須室内合奏団、しらさぎ吹奏楽団、野木交響楽団、うつのみやジュニアジャズオーケストラ

2020年3月29日(日) 10:30開演
会場：メインホール・サブホール
入場無料(要整理券)《メインホール》小学生以上入場可
《サブホール》0歳から入場可

「劇場で味わう♡と・ち・ぎ ～音楽絵巻風～」(声優朗読劇)

大迫力のプロジェクションマッピングの再演、オリジナル朗読劇で「とちぎ」を味わうひととき。栃木出身の人気声優が出演！

【プログラム】朗読劇「下野三剣士伝(しもつけさんけんしでん)」
声優トークコーナー

2020年3月30日(月)
15:00開演
会場：メインホール
入場無料(要整理券)
※4歳以上のお子様からご入場いただけます。



関 俊彦 阿部 敦 茅原 実里

好評受付中！詳細につきましては、ホームページをご覧くださいか、お問い合わせ下さい。

～栃木県総合文化センター リニューアルオープン記念公演～

「狂言 万作の会」

開館から続く大人気狂言シリーズ
初の日曜日開催！親子三代の共演！！

- 狂言鑑賞講座：野村萬斎
- 狂言「三本柱(さんぼんばしら)」
- 語「奈須與市語(なすのよいちのかたり)」
- 狂言「鬪罪人(くじざいにん)」

2020年4月12日(日)
14:00開演
会場：メインホール 特設能舞台
SS席5,000円 S席4,000円
A席3,000円(A席学生2,000円)

1月18日(土)
発売開始！



野村 万作(人間国宝) 野村 萬斎 野村 裕基



栃木県子ども総合科学館



問い合わせ先 028(659)5555
住所 宇都宮市西川田町567
URL <http://www.tsm.utsunomiya.tochigi.jp>

プラネタリウム一般向け番組 「海王星発見物語～発見にまつわる大人の事情～」

会場：プラネタリウム
期 日：12月6日(金)～2020年3月1日(日)
定 員：280名
内 容：1846年に発見された海王星は、科学の力が発見した惑星とも言われず。そこには、学者たちのたゆまぬ努力と様々な人間模様がありました。実話をもとに、三頭身ペーパーマペットが映像になった演出でコミカルに展開します。季節の星空紹介とともに楽しみみてください。



年末年始特別イベント 「むかしなつかし 冬あそび」

会場：多目的ホール・企画展示室(展示場観覧料が必要です)
期 日：12月28日(土)～29日(日)、1月4日(土)～5日(日)
時 間：12:30～16:00(15:30受付終了)
内 容：科学館で一緒に遊ぼう♪ご家族揃って遊べるイベントを用意してお待ちしております。



生きもの探検隊

会場：屋外・催し広場 ほか
期 日：1月11日(土)、18日(土)「冬越し中の生きものたち」
2月22日(土)「これも生きもの？地衣類を探そう」
2月29日(土)「春を探そう！」
3月7日(土)「春を探そう！」
時 間：10:00～11:30
参加費：50円(保険料として)
※保護者も保険料が必要です
対 象：小学生以上(保護者同伴)
定 員：各回15組
内 容：冬に生きものはどうしているのかな？一緒に自然観察をしましょう！みつけた生きものを記録してみんなで生きもの図鑑をつくりまします。
予 約：メールまたは往復はがき(各回10日前までの必着分を抽選)



プラネタリウム年少向け番組 「すてきなぼうえんきょう」

会場：プラネタリウム
期 日：9月7日(土)～2020年3月1日(日)
定 員：280名
内 容：ノゾミちゃんはちよっぴり泣き虫な5歳の女の子。パパの大切な望遠鏡を壊しちゃった！望遠鏡を直す方法を探すため、ノゾミちゃんはお洒落でキザな望遠鏡のエンくんと一緒に、星の世界に旅立ちます。綺麗なお星さまをたくさん見せてくれるエンくん。さあ、みんなもノゾミちゃんと一緒に、お星さまを見に行きましょう！季節の星空紹介とともに楽しみ下さい。



第21回 児童館フェア

会場：多目的ホール・企画展示室・学習室
期 日：2月16日(日) 時 間：12:00～15:30 参加費：無料
内 容：栃木県内の児童館が一堂に会する一年に一度のお祭りです。今回は県内43児童館の内、32館が14の遊びを紹介いたします。各館自慢の工作やゲームを是非体験してください！



とちぎ海浜自然の家



問い合わせ先 0291(37)4004
住所 茨城県銚田市玉田 336-2
URL <http://tochigikaihin.jp/>

海浜冬まつり

あんこうの吊し切りや活動プログラムを体験したりすることをとおして、海のすばらしさを体感するとともに、家族・仲間の親睦を深めます。

- 期 日／令和2年2月15日(土)～2月16日(日) 1泊2日
- 募集期間／募集中～令和2年1月6日(月)
- 募集人員／200名
- 参加費／大人 6,900円 高校生 5,200円
中学生 4,300円 小学生 4,100円
3歳以上 3,200円 3歳未満 300円



あんこう吊し切り



おまつり広場

水族館バックヤードツアー

普段は見ることのできないアクアワールド茨城県大洗水族館の裏側を探検します。きっと、新たな発見がたくさんあることでしょう!

- 期 日／令和2年2月29日(土)～3月1日(日)1泊2日
- 募集期間／募集中～令和2年1月20日(月)
- 募集人員／150名
- 参加費／大人 7,800円 高校生 6,100円
中学生 4,300円 小学生 4,100円
3歳以上 2,800円 3歳未満 300円



水族館バックヤードツアー



移動水族館

とちぎ海浜自然の家では、栃木県では体験できない、海を生かした主催事業を企画して、皆様の参加をお待ちしております。是非、お越し下さい。



なす高原自然の家



問い合わせ先 0287(76)6240
住所 那須町湯本 157
URL <http://windy-nasu.jp>

冬の思い出を作ってみませんか？

◆ふれあい広場◆

～親子で仲良く雪遊び！楽しい活動が満載！～

- 開催日／令和2(2020)年2月29日(土曜日)～3月1日(日曜日)1泊2日
- 対象／障がいのある成人の方とその家族
特別支援学校・学級に通う児童・生徒とその家族
- 定員／15家族 ※申込み多数の場合は抽選
- 内容／レクリエーション・雪遊び・親同士の情報交換会など
- 参加費(県内の方)／大人・大学生 5,300円 高校生 4,000円 中学生 3,600円
(県外の方は別) 小学生 3,400円 幼児 3,200円(3歳未満は無料)



そり滑り

◆家族スペシャルデー②◆

～家族だけが宿泊できるスペシャルデー！～

- 開催日／令和2(2020)年3月7日(土曜日)～3月8日(日曜日)1泊2日
- 対象／家族
- 定員／15家族 ※申込み多数の場合は抽選
- 内容／キャンプファイヤー・マイスプーンフォーク作りなど
- 参加費(県内の方)／大人・大学生 5,000円 高校生 3,500円 中学生 3,000円
(県外の方は別) 小学生 2,800円 幼児 2,600円(3歳未満は無料)



キャンプファイヤー

※申込期間 (両イベントともに)

令和2(2020)年1月5日(日曜日)8時30分～1月19日(日曜日)17時まで

栃木県埋蔵文化財センター



問い合わせ先 0285(44)8441
住所 下野市紫 474
URL <http://www.maibun.or.jp>

埋蔵文化財センターでは、常設展示室において、栃木県内の遺跡の発掘調査で出土した遺物を展示して、旧石器時代から奈良・平安時代までの歴史を分かりやすく解説しています。主に小学生の歴史学習の見学コースとして利用されています。秋には、毎年発掘調査速報展を実施し、発掘成果をいち早く県民の皆様にお知らせしています。今年度は、10月1日～11月29日まで、小山市西高椅遺跡、鹿沼市松の木遺跡、上三川町城ノ内遺跡、高根沢町会橋久保経塚の4遺跡を展示しました。

また、当センター以外の場所で、市町と連携した展示も行っています。宇都宮市立南図書館では、10月25日～11月17日まで、「宇都宮南部における古代の信仰遺跡」と題する展示を行いました。

来年1月27日～2月21日まで、県庁本館2階のショーケースにおいて「県庁本館ミニ展示」を行います。今年度は、縄文時代をテーマとする予定です。2月中旬には、昼休み時間に、当センター職員によるギャラリートークも予定しています。現在の私たちの生活の基礎を築いた縄文時代の技術、文化を実感していただきたいと思っております。



H30 (2018) 県庁ミニ展示 展示風景



ギャラリートークの様子

■ 栃木県青少年育成県民会議からのお願い

栃木県青少年育成県民会議では 「県民総ぐるみで健全なとちぎの青少年を育むために」 賛助会員を募集しています。

当県民会議は、昭和43年に設立されて、県と一体となり、青少年の健全育成のため、地域の組織づくりや明るい家庭づくりの推進を始め、さまざまな活動に取り組んでいます。

最近では、特に「とちぎ心のスクラム県民運動」等により、県民が心をつなげて、健全な青少年を地域全体で育成していこうとする気運が生まれつつありますが、この運動を更に盛り上げるためには、地域で活発に活動をされておられる“多くの県民の皆様”の一体感の醸成が不可欠なものと考えております。

こうしたことから、県民会議では一層の賛助会員の広がりを目指し、県民をあげてこの青少年の健全育成を図る土壌づくりを更に進めたいと考えております。

また、賛助会員の皆様からの賛助会費は、貴重な財源として活動経費に充てさせていただいておりますが、より充実した活動の推進のために、更なる支援が必要となっております。

つきましては、栃木県の青少年を更に健全に育成するために、以上の趣旨をご理解のうえ賛助会員にご入会いただき、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和元年12月

栃木県青少年育成県民会議
理事長 小林 延年

賛助会員数 (令和元年12月現在)	個人	247人
	団体	174団体
賛助会費	団体 (1口)	10,000円
	個人 (1口)	3,000円

●入会申込書はホームページにあります。「栃木県青少年育成県民会議」で検索してください。●